

＜別添＞ 株式会社国際電気通信基礎技術研究所が有する技術シーズを対象に  
 研究開発成果の事業化を目的とするベンチャーキャピタルファンド  
 「けいはんな学研都市ATRベンチャーNVCC投資事業有限責任組合」に対する戦略的LP投資を实行

投資対象： 日本ベンチャーキャピタル株式会社 (NVCC) が新たに組成・運営するファンドであるけいはんな学研都市ATRベンチャーNVCC投資事業有限責任組合(けいはんなATRファンド)に対する戦略的LP投資  
 事業内容： 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) が有するBMI<sup>1</sup>の研究開発や人工知能などの研究を中心とした脳情報科学や、ライフ・サポートロボット、無線通信などの分野の技術シーズを対象に、成果の社会実装のための事業化を行うベンチャー投資事業  
 支援決定金額：25億円(上限)  
 支援決定公表日：2015年2月23日



- ・ 関西発のベンチャー企業などに対して成長資金を供給し、けいはんな学研都市を中心とした関西地区の活性化に貢献
- ・ 日本の成長を支える技術の源泉である研究機関やアカデミア発シーズのインキュベーションやイノベーションの基盤を、再現性と循環性のある形で厚く豊かにすることを目指す

※1 ブレイン・マシン・インタフェース(BMI)：ロボットなどの機器を制御するために、従来のインタフェースでは利用者はスイッチなどを手足などで直接操作することで意図を伝えるのに対し、BMIでは利用者の脳活動に基づき推定された意図を用いる。手足などによる直接操作を不要としていることが特徴。